

日光の社寺をはじめとする世界遺産のもつ意味を考えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今日は少し文化的な話をさせていただきます。先週は、ユネスコ、国際連合教育科学文化機関のお話をさせていただきました。今日はそれに引き続いて、世界遺産について少しお話をさせていただきます。

開倫ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連合から認められて、私がおの会長を務めさせていただいております。ですから、世界の遺跡、世界遺産について非常に興味があります。どのように世界遺産が決まるかといいますと、世界遺産の条約があり、その参加国全体の会議が二年に一回開かれます。その会議では、新しい世界遺産のリストの登録をする・今までの世界遺産についてモニターをする・どのようになっているか監視をするなど、条約の運用について話し合います。委員会のメンバーは、二年に一回開かれる参加国全体の会議で、ユネスコの 177 カ国の中から選出されます。今のメンバーは、21 カ国です。人気のある委員会なので、なかなか選挙は難しいようです。

日本はとても素晴らしい国なので、1992 年に参加することになったと同時に、委員会に選出されました。日本は今までに 13 くらいを世界遺産の候補としてユネスコに提出し、1993 年に法隆寺と姫路城が世界遺産として登録されました。これまでに 11 件が世界遺産になっていました。10 番目が栃木県にある日光の社寺で、11 番目が沖縄にある琉球王朝の城です。この間は、高野山から始まる吉野・熊野地域の自然と、様々な仏閣・神社・参詣の路が信仰の対象として選ばれました。選ばれてよかったなあと思います。

では、世界遺産になることは何を意味するのでしょうか。世界遺産の条約でいう世界遺産は、そのリストに載っているものです。どんな遺産が載るかということ、顕著な普遍的な価値を有するものです。顕著とは非常に優れている、普遍的な価値とはどんな時代にもあてはまるような価値・大切さということで、これを有することが世界遺産に選ばれる条件になっています。ですから、顕著な普遍的な価値をもっていると最終的に委員会で判定されまると、世界遺産リストに載ります。世界遺産に載りますと、世界人類のための世界遺産になります。栃木県には日光の社寺がありますね。これは、素晴らしいことです。人類の顕著な普遍的な価値を有するということですので、大切にしなければならぬなあと思います。

国宝は日本国にとっての重要な文化財ですが、世界文化遺産は人類全体によって共有される文化遺産ということです。顕著な普遍的な価値を有するということは世界に認知されるということにな

りますので、それだけprestigeが上がるということです。日本もそうですが、ヨーロッパでも世界遺産があまりないような国では、特にprestigeが上がるということです。特に、文化的に近隣の国に隠れてしまっている小さな国々にとって、国とか地方のコミュニティにとって、世界遺産をもつことは非常に大きな誇りになります。また、prestigeが上がるということは、観光客の誘致、すなわち収入増にもつながります。このように、最近では単なる観光ではなくて、文化に関連した観光・環境に関連した観光というようなものが中核になっています。

単においでくださいと誘致しても観光客はなかなか集まらないので、文化遺産とか自然環境とかをテコに観光客を誘致する必要があります。中でも、文化に関連した観光は人気があります。したがって、世界文化遺産に登録されるということは、単にprestigeが上がるだけではなくて、実質的にもプラスになるということです。

ただ、ユネスコの世界遺産になると、同時に人類のために世界遺産を守るという義務が生じます。これも非常に重要なことです。ですから、遺産の保護に関しては、一時的にはその国の政府が義務を負うことですが、各国の中央公共団体、日本であれば栃木県や日光市などの市町村、もっと広げれば、それぞれのコミュニティに住む我々県民に日光の社寺を守る責任が課せられるのです。大げさにいうと、現地の関係者が皆で力を合わせて世界遺産を守るという意識をもたなくてはならないということです。我々もせっかくユネスコ協会に加盟して、そのメンバーに入らせていただいています。是非、日光の素晴らしい遺産を守ることをしていきたいなあと思います。

ところで、私は、ソフトパワーというのを以前お話したと思います。パワー、権力、力には、2つの意味があります。一つは、軍事力や経済力などで相手を従わせるというパワーです。もう一つは、自分の魅力で相手を引きつけるというパワーです。自県にはユネスコの世界遺産に登録された日光の社寺があり、これは栃木県のソフトパワーの極致と申しますか、一番優れたものです。栃木にはまだまだ優れたものがありますので、そのようなソフトパワーを磨き込んで、栃木県をもっともっと素晴らしい県にするとよいと思います。